

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

コード番号 8729 URL <https://www.sonyfh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 茂

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 長谷川 康生 TEL 03-5290-6500 (代表)

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,129,323	△4.0	74,026	49.5	50,489	18.8
2018年3月期第3四半期	1,175,843	12.9	49,517	△1.6	42,486	26.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 38,572百万円 (△20.8%) 2018年3月期第3四半期 48,694百万円 (167.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	116.06	116.04
2018年3月期第3四半期	97.67	97.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,143,923	637,987	4.8
2018年3月期	12,401,446	625,406	5.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 636,013百万円 2018年3月期 623,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				62.50	62.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,530,000	1.8	92,000	37.6	60,000	15.6	137.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	435,062,983株	2018年3月期	435,027,513株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	35,954株	2018年3月期	35,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	435,013,160株	2018年3月期3Q	434,975,717株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、10ページの「注意事項」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	4
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
2. 補足情報	
2018年度第3四半期(9カ月累計)連結業績およびソニー生命の2018年12月末MCEV	11

※ 当社は、2018年度第3四半期連結業績についての機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの様態については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ(下記URL ご参照)に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

「2018年度第3四半期連結決算説明会」
(2018年度第3四半期連結業績およびソニー生命の2018年12月末MCEV)

開催予定日時 : 2019年2月13日(水) 15:30～

当社ホームページURL : <https://www.sonyfh.co.jp/>

※ ソニー生命保険株式会社(以下「ソニー生命」)、ソニー損害保険株式会社(以下「ソニー損保」)、ソニー銀行株式会社(以下「ソニー銀行」)は、本日それぞれ2018年度第3四半期業績(9カ月累計)を発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください(当社ホームページからもご参照いただけます)。

ソニー生命ホームページURL : <https://www.sonylife.co.jp/>

ソニー損保ホームページURL : <https://www.sonysonpo.co.jp/>

ソニー銀行ホームページURL : <https://sonybank.net/>

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	327,633	383,254
コールローン及び買入手形	65,500	86,700
買入金銭債権	5,378	5,751
金銭の信託	291,582	288,642
有価証券	9,581,206	10,140,651
貸出金	1,785,877	1,869,284
有形固定資産	106,051	104,691
無形固定資産	35,684	38,732
再保険貸	934	2,052
外国為替	9,346	11,139
その他資産	168,736	183,398
退職給付に係る資産	3,426	3,660
繰延税金資産	21,242	27,230
貸倒引当金	△1,152	△1,266
資産の部合計	12,401,446	13,143,923
負債の部		
保険契約準備金	8,763,349	9,195,757
支払備金	74,712	76,523
責任準備金	8,683,153	9,114,084
契約者配当準備金	5,484	5,149
代理店借	1,873	1,460
再保険借	5,563	4,946
預金	2,159,246	2,280,653
コールマネー及び売渡手形	96,000	122,378
借入金	173,944	183,901
外国為替	228	330
社債	20,000	20,000
その他負債	470,501	610,486
賞与引当金	3,906	2,310
退職給付に係る負債	33,179	33,828
特別法上の準備金	48,135	49,750
価格変動準備金	48,135	49,750
繰延税金負債	0	21
再評価に係る繰延税金負債	109	109
負債の部合計	11,776,039	12,505,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,927	19,963
資本剰余金	191,157	191,193
利益剰余金	283,911	308,301
自己株式	△55	△55
株主資本合計	494,941	519,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,991	121,540
繰延ヘッジ損益	△902	△964
土地再評価差額金	△2,439	△2,439
退職給付に係る調整累計額	△1,929	△1,526
その他の包括利益累計額合計	128,719	116,611
新株予約権	97	133
非支配株主持分	1,648	1,840
純資産の部合計	625,406	637,987
負債及び純資産の部合計	12,401,446	13,143,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
経常収益	1,175,843	1,129,323
生命保険事業	1,059,433	1,004,462
保険料等収入	761,351	814,153
(うち保険料)	759,601	812,196
資産運用収益	253,830	145,506
(うち利息及び配当金等収入)	117,415	124,415
(うち金銭の信託運用益)	3,364	3,364
(うち売買目的有価証券運用益)	57	—
(うち有価証券売却益)	0	4,581
(うち為替差益)	2,804	13,145
(うち特別勘定資産運用益)	130,185	—
その他経常収益	44,251	44,803
損害保険事業	82,421	86,296
保険引受収益	81,062	84,748
(うち正味収入保険料)	81,016	84,699
(うち積立保険料等運用益)	46	48
資産運用収益	1,330	1,503
(うち利息及び配当金収入)	1,001	1,025
(うち有価証券売却益)	375	526
(うち積立保険料等運用益振替)	△46	△48
その他経常収益	28	44
銀行事業	29,479	33,580
資金運用収益	21,179	23,598
(うち貸出金利息)	12,783	13,036
(うち有価証券利息配当金)	8,340	10,509
役務取引等収益	4,745	6,406
その他業務収益	2,855	3,171
その他経常収益	698	404
その他	4,509	4,984
その他経常収益	4,509	4,984

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
経常費用	1,126,326	1,055,297
生命保険事業	1,021,460	946,398
保険金等支払金	328,628	344,334
(うち保険金)	67,995	69,873
(うち年金)	8,817	9,693
(うち給付金)	96,742	105,853
(うち解約返戻金)	146,090	148,589
(うちその他返戻金)	2,469	2,811
責任準備金等繰入額	524,320	423,685
支払備金繰入額	—	431
責任準備金繰入額	524,319	423,253
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	28,479	32,425
(うち支払利息)	61	1,050
(うち売買目的有価証券運用損)	—	286
(うち有価証券売却損)	0	34
(うち有価証券評価損)	—	4,026
(うち金融派生商品費用)	23,990	784
(うち特別勘定資産運用損)	—	22,800
事業費	102,646	107,039
その他経常費用	37,386	38,913
損害保険事業	76,832	78,332
保険引受費用	56,402	58,049
(うち正味支払保険金)	38,534	42,031
(うち損害調査費)	5,574	6,025
(うち諸手数料及び集金費)	1,002	934
(うち支払備金繰入額)	2,524	1,380
(うち責任準備金繰入額)	8,767	7,677
資産運用費用	1	1
営業費及び一般管理費	20,409	20,279
その他経常費用	18	3
銀行事業	22,674	24,884
資金調達費用	5,789	6,300
(うち預金利息)	3,926	4,865
(うち売現先利息)	—	258
役務取引等費用	3,414	4,338
その他業務費用	83	106
営業経費	13,317	13,849
その他経常費用	70	288
その他	5,359	5,681
その他経常費用	5,359	5,681
経常利益	49,517	74,026

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
特別利益	13,258	0
固定資産等処分益	13,258	0
特別損失	1,597	1,694
固定資産等処分損	151	69
減損損失	0	10
特別法上の準備金繰入額	1,408	1,614
価格変動準備金繰入額	1,408	1,614
その他特別損失	36	—
契約者配当準備金繰入額又は戻入額(△)	122	△63
税金等調整前四半期純利益	61,056	72,395
法人税及び住民税等	21,413	23,153
法人税等調整額	△2,881	△1,437
法人税等合計	18,532	21,716
四半期純利益	42,524	50,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	190
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,486	50,489

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	42,524	50,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,513	△12,451
繰延ヘッジ損益	166	△61
退職給付に係る調整額	490	404
その他の包括利益合計	6,170	△12,107
四半期包括利益	48,694	38,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,654	38,380
非支配株主に係る四半期包括利益	39	191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、ベンチャーキャピタル事業会社ソニーフィナンシャルベンチャー株式会社は新規設立により、第2四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。同社の業績については、四半期連結損益計算書上、「その他」に含めて区分しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益 (注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	1,059,433	82,421	29,479	1,171,334	4,509	1,175,843
(2) セグメント間の内部経常 収益	2,750	0	165	2,917	—	2,917
計	1,062,183	82,422	29,645	1,174,251	4,509	1,178,760
セグメント利益	40,230	5,039	5,078	50,348	△851	49,497

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益 (注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	1,004,462	86,296	33,580	1,124,339	4,984	1,129,323
(2) セグメント間の内部経常 収益	2,152	0	186	2,340	—	2,340
計	1,006,615	86,296	33,767	1,126,679	4,984	1,131,663
セグメント利益	60,160	7,394	7,043	74,597	△697	73,899

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメント計	50,348	74,597
「その他」の区分の損益	△851	△697
セグメント間取引の調整額	△133	—
事業セグメントに配分していない損益(注)	153	126
四半期連結損益計算書の経常利益	49,517	74,026

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当社の連結業績※は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連結：ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

ソニー生命保険株式会社

ソニー損害保険株式会社

ソニー銀行株式会社

ソニーペイメントサービス株式会社

SmartLink Network Hong Kong Limited

ソニー・ライフケア株式会社

ライフケアデザイン株式会社

プラウドライフ株式会社*

ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社*

持分法適用：ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社

SA Reinsurance Ltd.

* プラウドライフ株式会社が、2018年3月期 第2四半期連結会計期間より、ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社が2019年3月期 第2四半期連結会計期間より、新たに連結範囲に含まれております。

注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限られません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しにのみ全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

2. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

2018年度第3四半期（9カ月累計）連結業績 およびソニー生命の2018年12月末MCEV

2018年度第3四半期（9カ月累計）連結業績	3
2018年度連結業績予想	24
ソニー生命の2018年12月末MCEVおよびESR	26
参考情報	29

【プレゼンテーション資料】

2018年度第3四半期（9カ月累計） 連結業績 およびソニー生命の2018年12月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2019年2月13日

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

目次

■ 2018年度第3四半期（9カ月累計）連結業績	P. 3
■ 2018年度 連結業績予想	P. 24
■ ソニー生命の2018年12月末MCEVおよびESR	P. 26
■ 参考情報	P. 29

免責事項：

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

※本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示。

また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標。

2018年度第3四半期（9カ月累計） 連結業績

決算のポイント

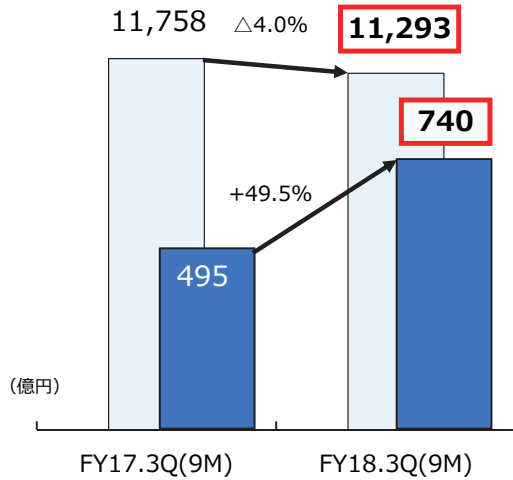
- FY18.3Q(9M)連結業績：前年同期比 減収($\Delta 4.0\%$)、増益(+49.5%)
 - ・ 経常収益：主に生命保険事業における特別勘定運用損益の悪化により、減収
損害保険事業および銀行事業は増収
 - ・ 経常利益：生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において
増加した結果、増益
- 営業業績：引き続き3事業とも着実に業容を拡大
ソニー生命では、家族収入保険の契約獲得が好調に推移
- 通期業績予想：主に生命保険事業のFY18.3Q(9M)業績が期初の想定と乖離して進捗した
ことを受け、2018年4月27日の公表値を修正
 - ・ 経常収益：1兆5,300億円 (前回公表値比 $\Delta 3.0\%$)に下方修正
 - ・ 経常利益：920億円 (同+10.8%)に上方修正
 - ・ 親会社株主に帰属する当期純利益：600億円 (同+9.1%)に上方修正
- 経済価値ベースの指標
 - ・ 12月末のMCEVは、1兆6,646億円。円金利の低下などにより、前四半期末に比べ減少
 - ・ FY18.3Q(3M)の新契約価値は237億円。着実な新契約獲得により前四半期に比べ増加

連結業績ハイライト



<グループ連結>

□ 経常収益 ■ 経常利益



		(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
生命保険事業	経常収益		10,621	10,066	△555	△5.2%
	経常利益		402	601	+199	+49.5%
損害保険事業	経常収益		824	862	+38	+4.7%
	経常利益		50	73	+23	+46.7%
銀行事業	経常収益		296	337	+41	+13.9%
	経常利益		50	70	+19	+38.7%
その他*	経常収益		15	26	+10	+66.1%
	経常利益		△8	△5	+2	-
グループ連結	経常収益		11,758	11,293	△465	△4.0%
	経常利益		495	740	+245	+49.5%
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益		424	504	+80	+18.8%

* 持株会社（連結財務諸表提出会社）、介護事業及びベンチャーキャピタル事業にかかる損益と内部取引調整。
FY17.2Qよりブラウドライブ、FY18.2Qよりソニーフィナンシャルベンチャーズを含む。

(注) 包括利益：FY17.3Q(9M)・・・486億円、FY18.3Q(9M)・・・385億円

		(億円)	18.3末	18.12末	前年度末比	
グループ連結	純資産		6,254	6,379	+125	+2.0%
	総資産		124,014	131,439	+7,424	+6.0%

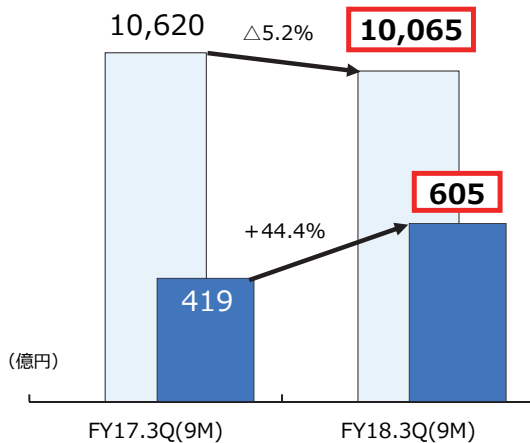
Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

5

ソニー生命 業績ハイライト (単体)



□ 経常収益 ■ 経常利益



- ◆ 前年同期比 減収増益。
- ◆ 保険料等収入は、保有契約高の堅調な推移などにより、増加。
- ◆ 資産運用収益は、特別勘定資産運用損益の悪化により、減少。
- ◆ 経常利益は、一般勘定におけるその他有価証券に係る減損損失の計上があったものの、一般勘定におけるその他有価証券に係るヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の改善および有価証券売却益の計上、保有契約高の拡大による利益の増加、ならびに解約の増加にともなう責任準備金負担の減少により、増益。

		(億円)	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)	前年同期比	
経常収益			10,620	10,065	△555	△5.2%
保険料等収入			7,628	8,158	+529	+6.9%
資産運用収益			2,543	1,454	△1,088	△42.8%
うち利息及び配当金等収入			1,177	1,244	+66	+5.6%
うち有価証券売却益			0	45	+45	-
うち為替差益			28	131	+103	+368.8%
うち特別勘定資産運用益			1,301	-	△1,301	△100.0%
経常費用			10,201	9,459	△741	△7.3%
保険金等支払金			3,286	3,443	+157	+4.8%
責任準備金等繰入額			5,243	4,236	△1,006	△19.2%
資産運用費用			286	324	+37	+13.0%
うち有価証券評価損			-	40	+40	-
うち金融派生商品費用			239	7	△232	△96.7%
うち特別勘定資産運用損			-	227	+227	-
事業費			1,029	1,071	+42	+4.1%
経常利益			419	605	+186	+44.4%
固定資産等処分益			132	-	△132	△100.0%
四半期純利益			375	415	+40	+10.7%

		(億円)	18.3末	18.12末	前年度末比	
有価証券残高			87,659	92,744	+5,084	+5.8%
責任準備金残高			85,660	89,893	+4,232	+4.9%
純資産			4,927	5,000	+72	+1.5%
その他有価証券評価差額金			1,249	1,168	△81	△6.5%
総資産			95,676	101,132	+5,455	+5.7%
特別勘定資産			11,288	11,672	+384	+3.4%

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

6

ソニー生命 主要業績指標 (単体)

(億円)	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)	前年同期比
新契約高	34,454	45,953	+33.4%
解約・失効高	13,303	22,222	+67.0%
解約・失効率	2.94%	4.71%	+1.77pt
新契約年換算保険料	519	569	+9.8%
うち第三分野	93	111	+19.3%

<主な増減要因>

◆ 家族収入保険の販売が好調であったことにより、増加。

◆ 標準生命表改定にともない料率改定を行った家族収入保険などの加入に際し、一部のお客さまが既契約を解約されたことにより、増加。

◆ 個人年金保険、米ドル建保険の販売が好調であったことにより、増加。

(億円)	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)	前年同期比
資産運用損益 (一般勘定)	954	1,358	+42.3%
基礎利益	706	637	△9.8%
順ざや額	139	140	+0.7%

◆ 保有契約高の拡大による利益の増加および解約の増加にともなう責任準備金負担の減少があったものの、市場環境の悪化により、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額が増加したことから、減少。

(億円)	18.3末	18.12末	前年度末比
保有契約高	472,534	488,940	+3.5%
保有契約年換算保険料	8,488	8,711	+2.6%
うち第三分野	1,918	1,960	+2.2%
単体 ソルベンシー・マージン比率	2,624.3%	2,684.7%	+60.4pt

(注) 新契約高、解約・失効高、解約・失効率、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

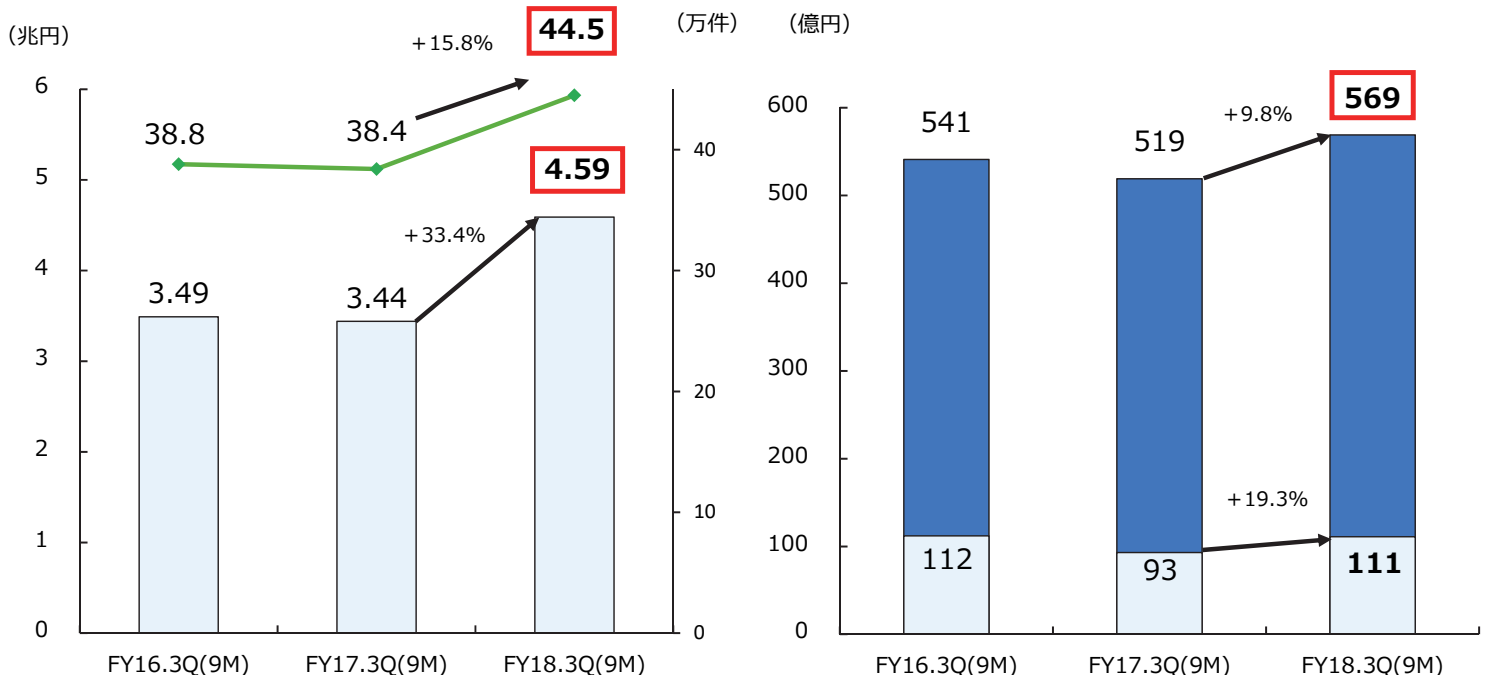
ソニー生命の業績 (単体) ①

新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

新契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

□ 新契約高 — 新契約件数

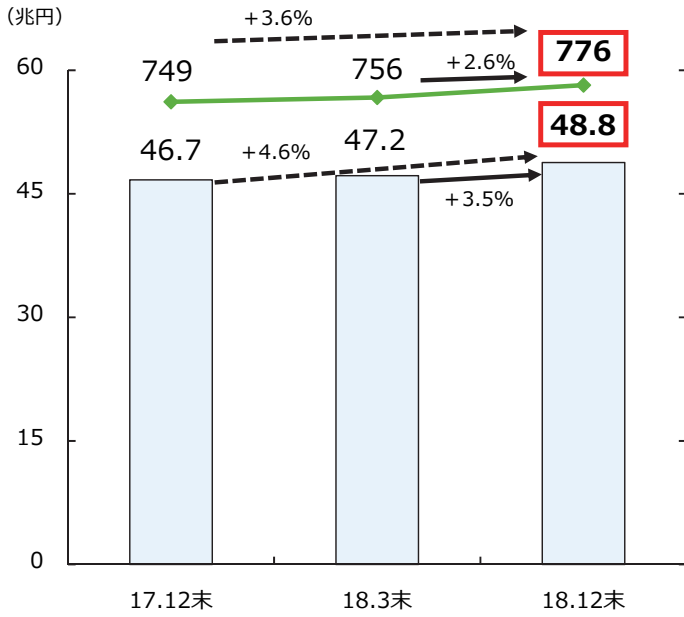
■ 新契約年換算保険料 □ うち、第三分野



ソニー生命の業績（単体） ②

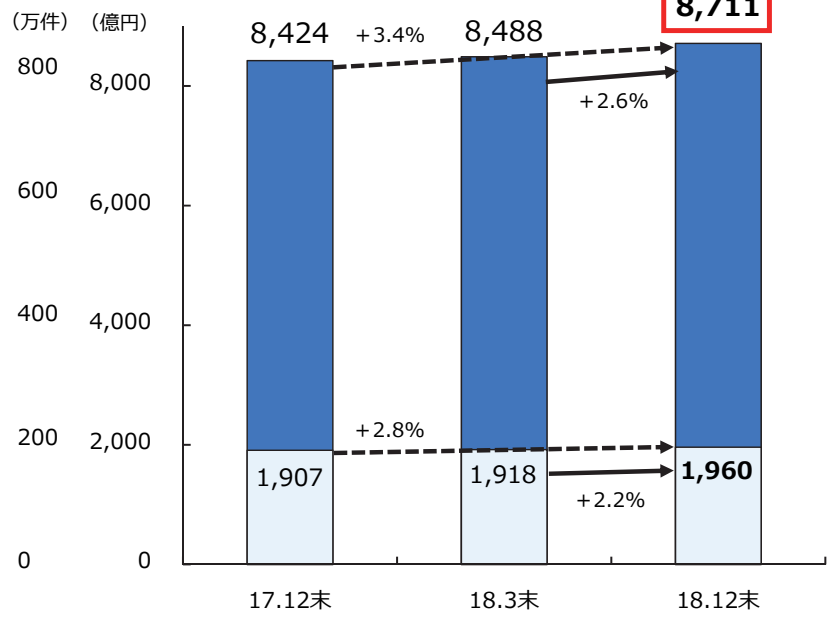
保有契約高・件数（個人保険+個人年金保険）

□ 保有契約高 — 保有契約件数



保有契約年換算保険料（個人保険+個人年金保険）

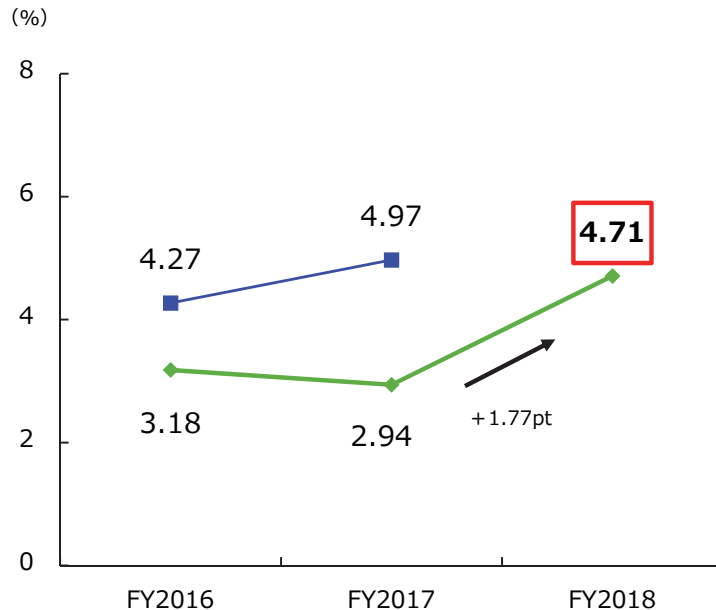
■ 保有契約年換算保険料 □ うち、第三分野



ソニー生命の業績（単体） ③

解約・失効率*（個人保険+個人年金保険）

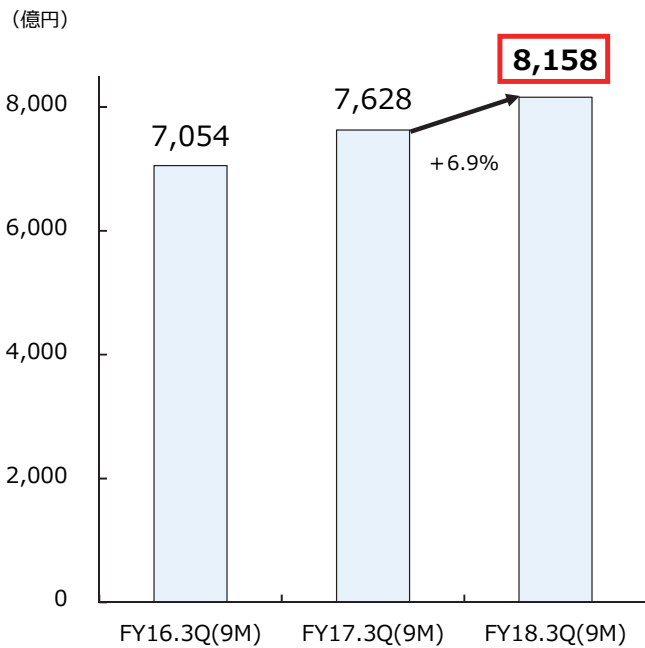
■ 解約・失効率（通期） ◆ 解約・失効率（9M）



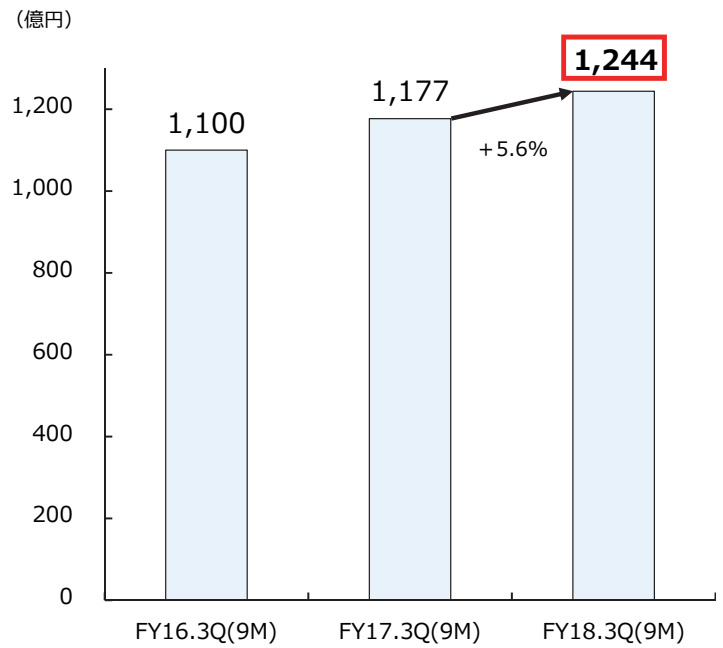
* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

ソニー生命の業績（単体）④

保険料等収入

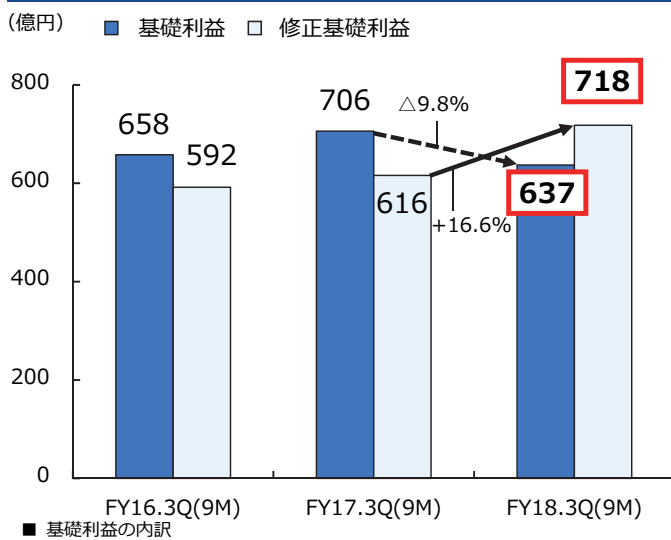


利息及び配当金等収入



ソニー生命の業績（単体）⑤

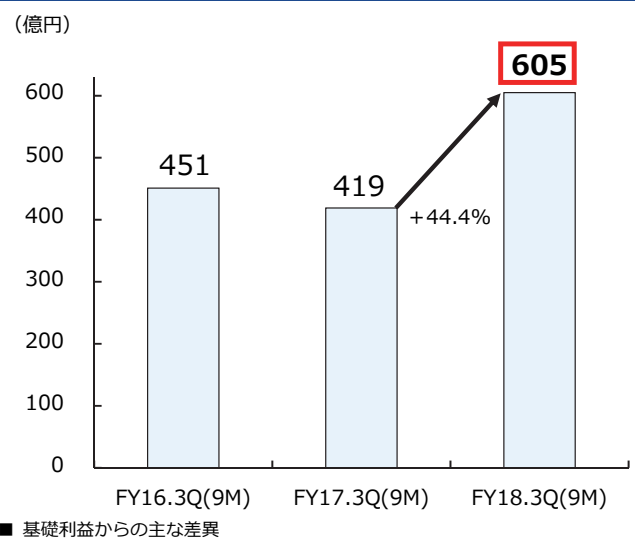
基礎利益と修正基礎利益



(億円)	FY16.3Q(9M)	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)
順ざや額	111	139	140
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額(△)(注1)	△45	△48	△221
修正基礎利益(注2)	592	616	718

(注1) 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額、危険準備金繰入額のマイナスは繰入額。キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除く。
 (注2) 修正基礎利益 = 基礎利益 - 順ざや額 - 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額

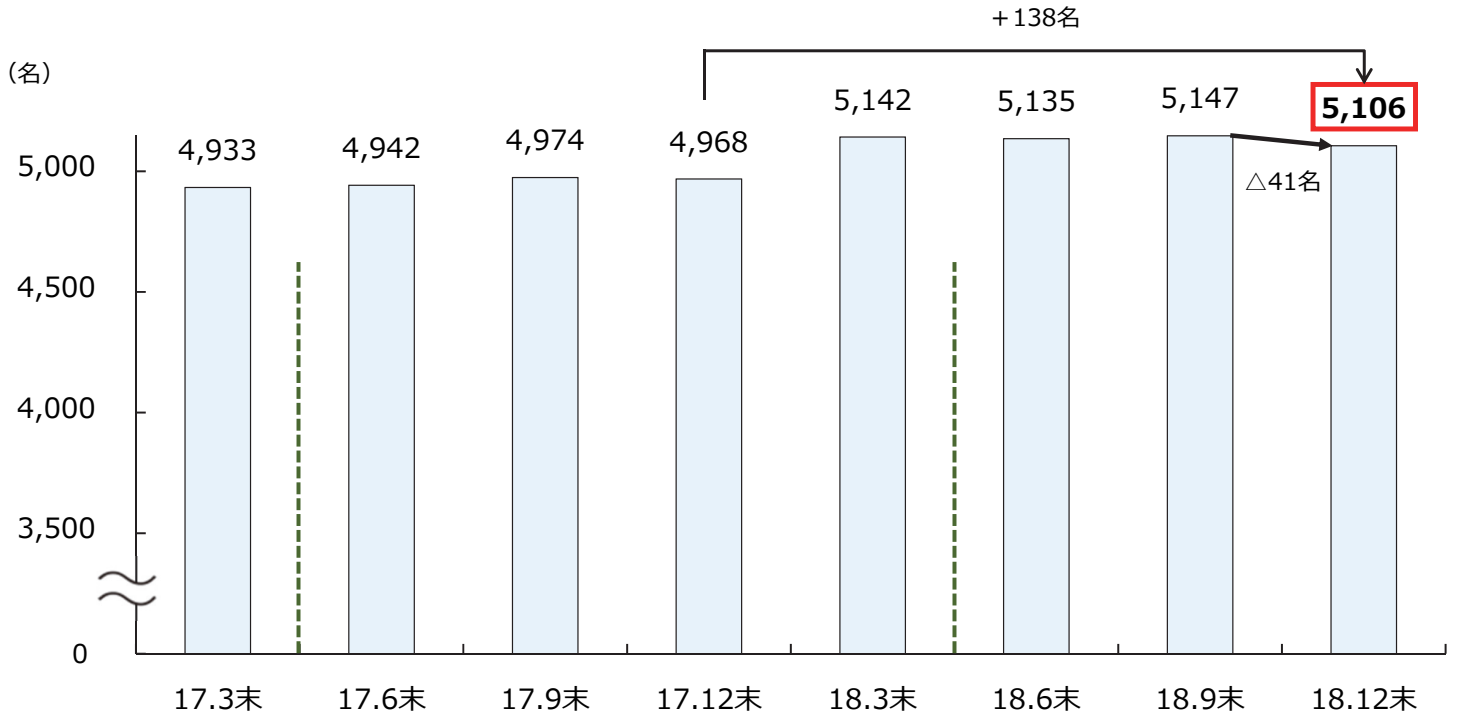
経常利益



(億円)	FY16.3Q(9M)	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)
キャピタル損益(ヘッジ損益除く)(注1)	0	△94	16
変額保険に係るヘッジ損益	△142	△135	16
危険準備金繰入額(△)(注1)	△62	△56	△63

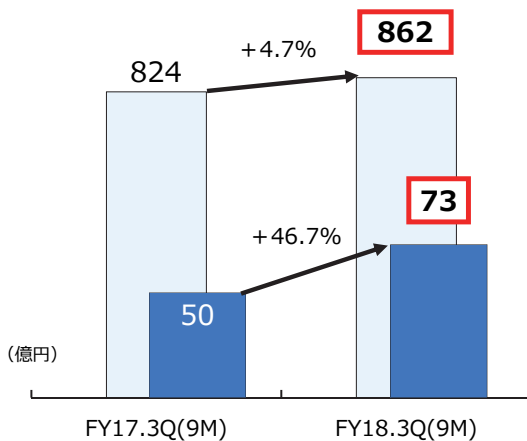
ソニー生命の業績（単体） ⑥

ライフプランナー在籍数



ソニー損保 業績ハイライト

□ 経常収益 ■ 経常利益



(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	824	862	+38	+4.7%
保険引受収益	810	847	+36	+4.5%
資産運用収益	13	15	+1	+13.0%
経常費用	773	789	+15	+2.0%
保険引受費用	567	584	+16	+2.9%
営業費及び一般管理費	206	204	△1	△0.7%
経常利益	50	73	+23	+46.7%
四半期純利益	36	52	+16	+44.3%

- ◆ 前年同期比 増収増益。
- ◆ 経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことにより、増収。
- ◆ 経常利益は、事業費率の低下や増収効果などにより、増益。

(億円)	18.3末	18.12末	前年度末比	
責任準備金残高	1,170	1,247	+76	+6.6%
純資産	331	353	+21	+6.5%
総資産	2,043	2,104	+61	+3.0%

ソニー損保 主要業績指標

(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
元受正味保険料	800	839	+4.8%	◆主力の自動車保険の契約獲得が順調に推移。
正味収入保険料	810	846	+4.5%	
正味支払保険金	385	420	+9.1%	
保険引受利益	37	59	+58.3%	◆自然災害の影響で保険金支払が増加したことにより、上昇。
正味損害率	54.4%	56.7%	+2.3pt	
正味事業費率	27.1%	25.7%	△1.4pt	◆システム関連費用などが減少したことにより、低下。
コンバインド・レシオ	81.5%	82.4%	+0.9pt	

(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
E.I 損害率	61.8%	61.5%	△0.3pt	◆支払備金繰入額が減少したことなどにより、低下。
E.I 損害率+正味事業費率	88.9%	87.2%	△1.7pt	

(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料
 [除く地震保険、自賠責保険]

	18.3末	18.12末	前年度末比
単体 ソルベンシー・マージン比率	782.1%	872.5%	+90.4pt

ソニー損保 種目別保険引受の状況

元受正味保険料

(百万円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	増減率
火 災	148	244	+64.5%
海 上	-	-	-
傷 害	6,515	6,576	+0.9%
自 動 車	73,379	77,103	+5.1%
自 賠 責	-	-	-
合計	80,043	83,924	+4.8%

正味収入保険料

(百万円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	増減率
火 災	11	68	+502.5%
海 上	0	△0	-
傷 害	6,671	6,653	△0.3%
自 動 車	73,200	76,865	+5.0%
自 賠 責	1,132	1,110	△1.9%
合計	81,016	84,699	+4.5%

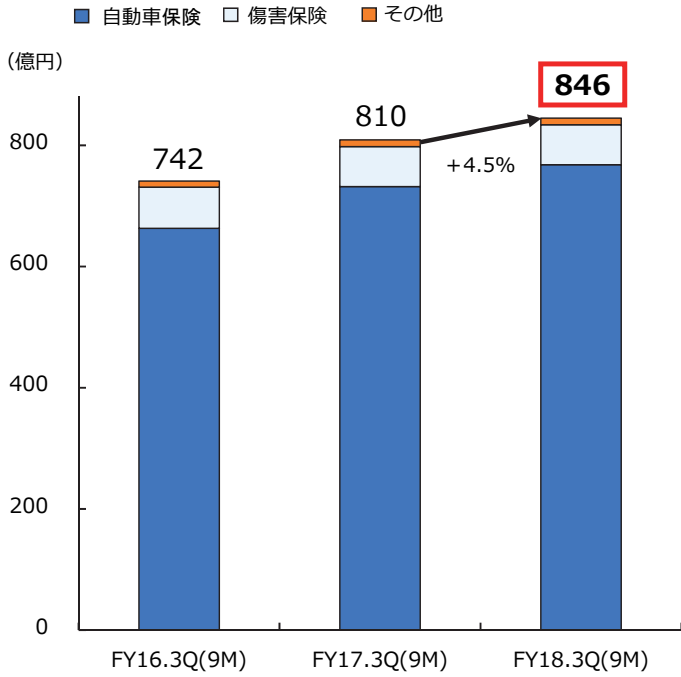
正味支払保険金

(百万円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	増減率
火 災	5	11	+102.0%
海 上	2	10	+273.5%
傷 害	2,029	2,218	+9.3%
自 動 車	35,501	38,760	+9.2%
自 賠 責	995	1,030	+3.5%
合計	38,534	42,031	+9.1%

(注) 「傷害」には医療保険を含む。

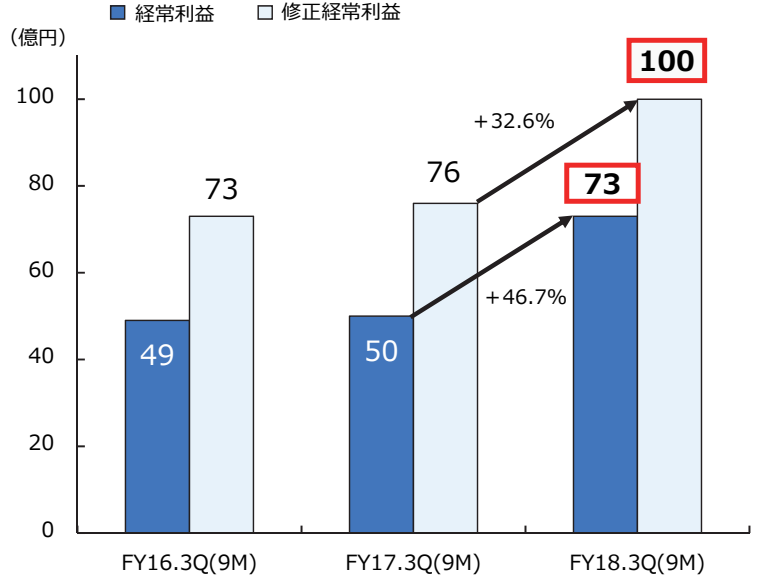
ソニー損保の業績 ①

正味収入保険料



(注) 傷害保険の正味収入保険料の大部分が医療保険。

経常利益と修正経常利益



※修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額

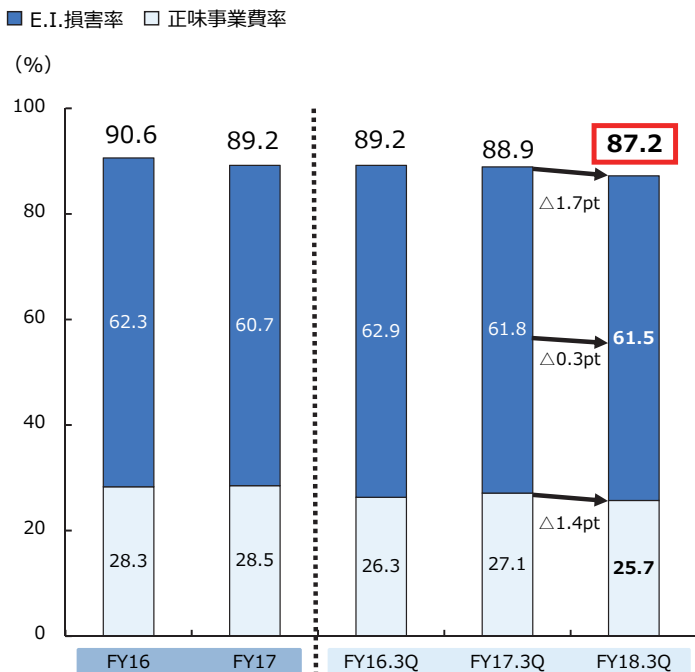
■ 異常危険準備金繰入状況

	(億円)	FY16.3Q (9M)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q(9M)
異常危険準備金繰入額		23	25	26

(注) 異常危険準備金繰入額のプラスは繰入額。

ソニー損保の業績 ②

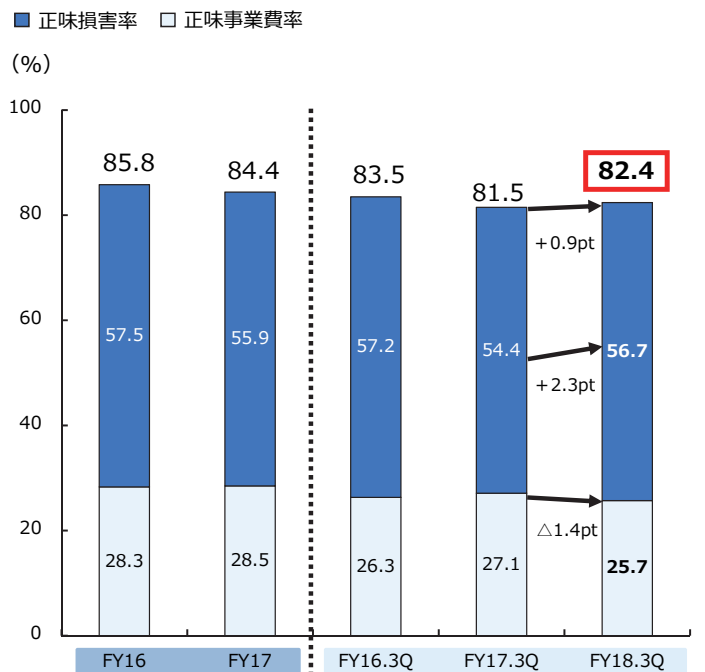
E.I.損害率 + 正味事業費率



(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 [除く地震保険、自賠責保険]

正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

<参考> コンバインド・レシオ (正味損害率 + 正味事業費率)



(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

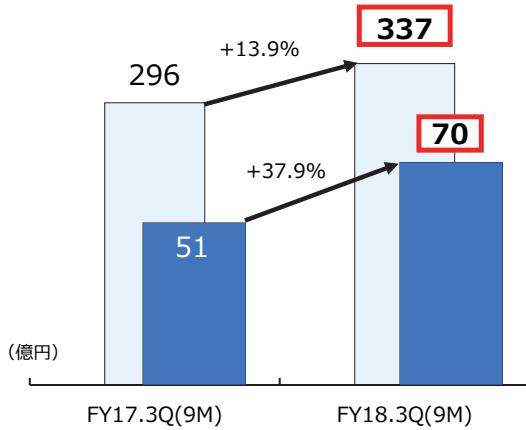
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

ソニー銀行 業績ハイライト (連結・単体)

<連結>

□ 経常収益

■ 経常利益



<連結>

(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	296	337	+41	+13.9%
経常利益	51	70	+19	+37.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33	46	+13	+40.3%

<単体>

(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	269	305	+36	+13.4%
業務粗利益	156	179	+23	+14.9%
資金運用収支	153	172	+18	+12.4%
役員取引等収支	△24	△23	+1	-
その他業務収支	27	30	+2	+10.8%
営業経費	116	117	+0	+0.8%
業務純益	40	62	+21	+53.8%
経常利益	46	63	+17	+37.6%
四半期純利益	31	44	+12	+40.3%

(億円)	18.3末	18.12末	前年度末比	
純資産	857	841	△15	△1.8%
その他有価証券評価差額金	60	23	△36	△60.8%
総資産	26,350	28,158	+1,808	+6.9%

<連結>

◆ 経常収益および経常利益は、有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息の増加により、増加。

<単体>

◆ 業務粗利益・業務純益ともに増加。資金運用収支は増加。有価証券利息や貸出金利息の増加による。

ソニー銀行 主要業績指標 (単体) ①

(億円)	17.12末	18.3末	18.12末	前年度末比	
預かり資産残高	23,382	23,430	24,536	+1,105	+4.7%
預金	22,134	22,193	23,366	+1,172	+5.3%
円預金	18,470	18,147	19,315	+1,168	+6.4%
外貨預金	3,664	4,046	4,050	+4	+0.1%
投資信託	1,247	1,237	1,170	△67	△5.4%
貸出金残高	15,738	15,963	16,735	+772	+4.8%
住宅ローン	14,952	15,255	16,130	+874	+5.7%
カードローン	186	188	183	△5	△2.9%
その他	599	518	422 ^{*1}	△96	△18.6%
自己資本比率 ^{*2} (国内基準)	9.46%	10.45%	10.34%	△0.11pt	

<主な増減要因>

◆ 口座数増加にもなう新規資金の獲得や、円安局面における外貨預金の円転の影響などにより、増加。

◆ 定期預金が増加したものの、円安局面で普通預金が円転されたことにより、横ばい。

◆ 住宅ローンの着実な積み上げにより、増加。

*1 うち422億円は法人向け

*2 P.23の自己資本比率(国内基準)の推移ご参照

ソニー銀行 主要業績指標 (単体) ②



<参考> 社内管理ベース

(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	前年同期比	
業務粗利益	156	179	+23	+15.0%
資金収支*1 ①	170	189	+18	+11.1%
手数料等収支*2 ②	△21	△19	+1	-
その他収支*3	6	9	+2	+43.3%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	149	169	+20	+13.7%
営業経費等 ③	116	117	+1	+1.4%
コアベース業務純益 =(A)-③	33	52	+18	+56.7%

■ 社内管理ベース

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

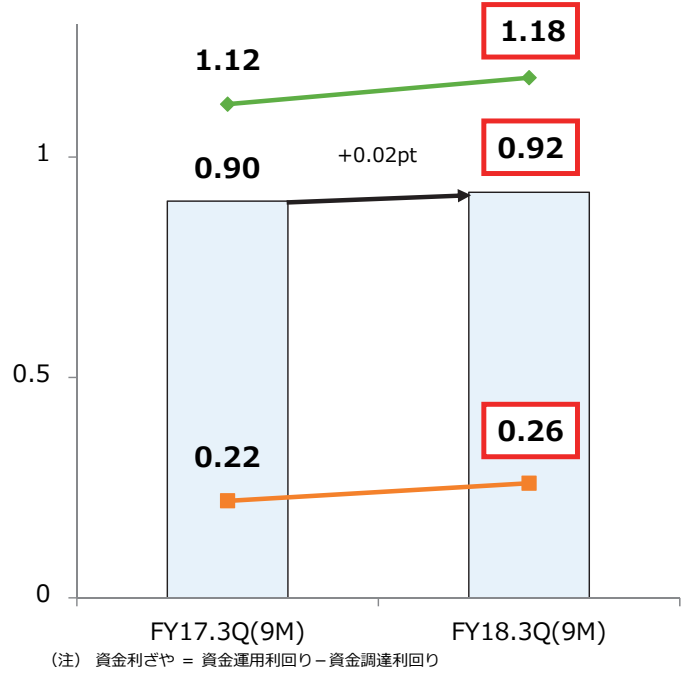
- *1 資金収支 …… 資金運用収支+その他業務収支に計上されている
実質的な資金運用にかかる損益 (為替スワップ収益等)
- *2 手数料等収支 … 役員取引等収支+その他業務収支に計上されている
お客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- *3 その他収支 …… その他業務収支から *1 と *2 の調整分を控除したもの
(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)

■ コアベース

社内管理ベースの その他収支 (主な内容は債券関係損益およびデリバティブ
関連損益) を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な利益を表すもの

<参考> 資金利ざや (社内管理ベース) の推移

(%) ◆ 資金運用利回り ■ 資金調達利回り □ 資金利ざや

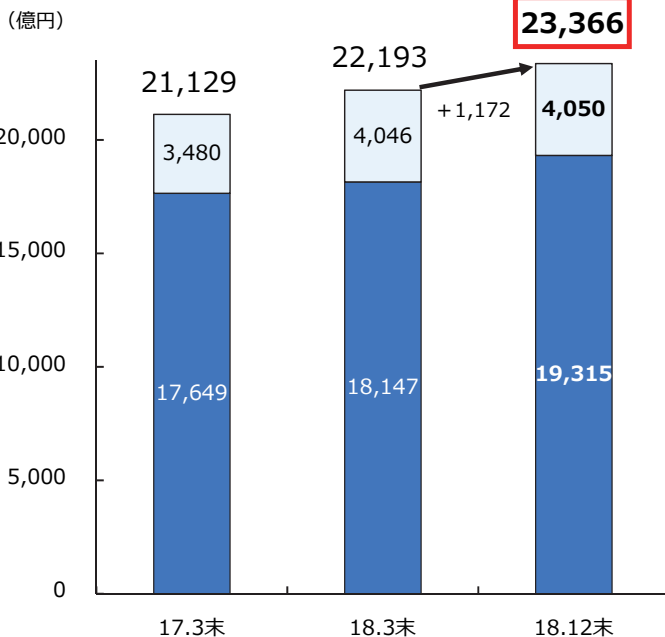


ソニー銀行の業績 (単体) ①



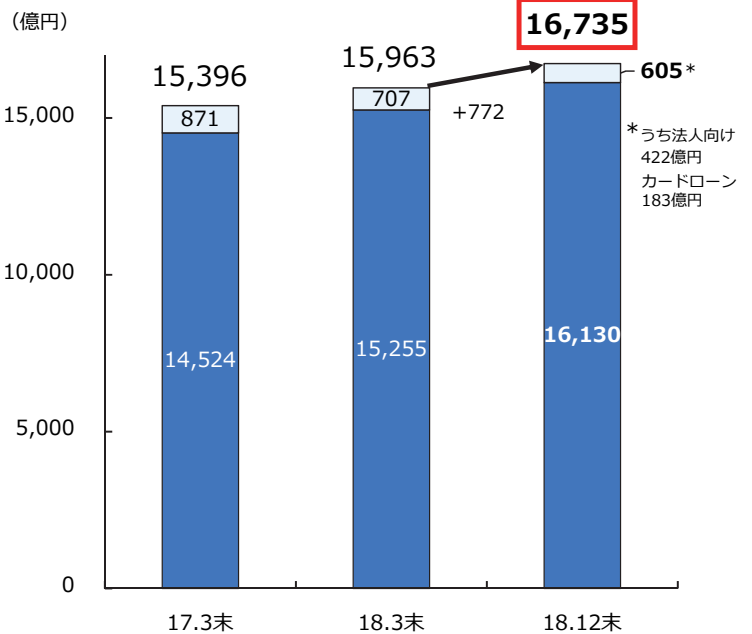
預金残高

■ 円預金 □ 外貨預金



貸出金残高

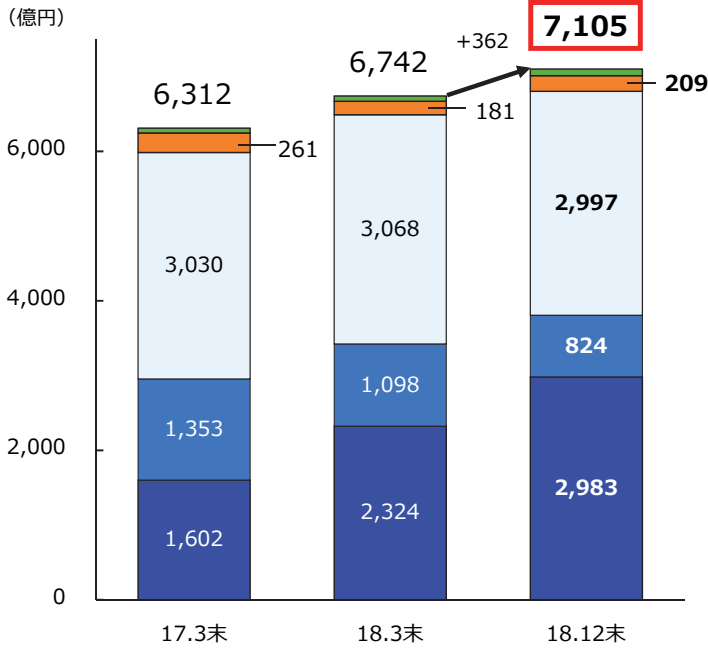
■ 住宅ローン □ その他



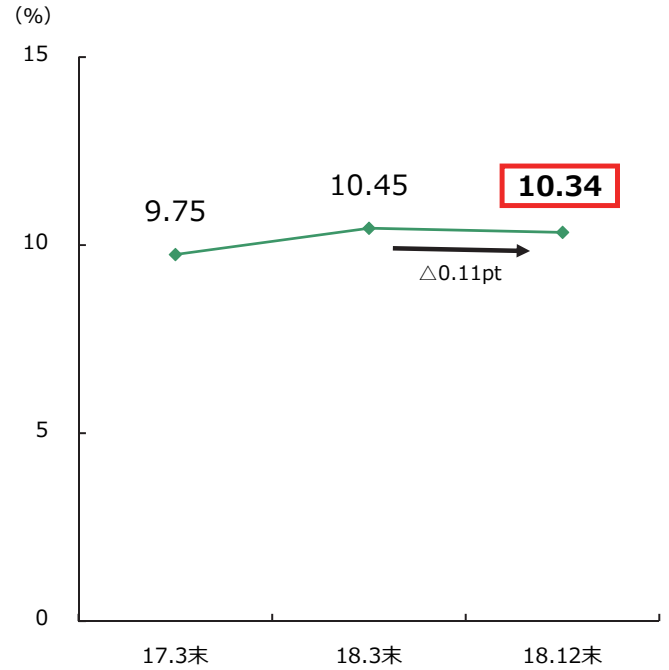
ソニー銀行の業績（単体） ②

格付別の有価証券残高の推移

■ AAA ■ AA □ A
 ■ BBB ■ その他



自己資本比率（国内基準）の推移



(注) 平成18年（2006年）金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。

2018年度連結業績予想

2018年度連結業績予想

連結業績予想については2018年4月27日に公表した数値から通期の経常収益見通しを下方修正。
経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益見通しは上方修正。

(億円)	FY2017 (通期実績)	FY2018 (通期予想)	前年度比 (予想修正後)	FY18.3Q (9M実績)	進捗率 (予想修正後)
経常収益	15,036	15,780 ⇒ 15,300	+1.8%	11,293	73.8%
うち生命保険事業	13,512	14,161 ⇒ 13,660	+1.1%	10,066	73.7%
うち損害保険事業	1,100	1,123 ⇒ 1,150	+4.5%	862	75.0%
うち銀行事業	399	428 ⇒ 447	+11.9%	337	75.5%
経常利益	668	830 ⇒ 920	+37.6%	740	80.5%
うち生命保険事業	541	709 ⇒ 781	+44.2%	601	77.0%
うち損害保険事業	65	65 ⇒ 68	+3.4%	73	108.7%
うち銀行事業	71	70 ⇒ 83	+16.1%	70	84.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	518	550 ⇒ 600	+15.6%	504	84.1%

<各事業の経常収益・経常利益>

■生命保険事業

経常収益は、FY18.3Q(9M)実績が期初想定を下回って推移したため、下方修正。経常利益は、FY18.3Q(9M)に、一般勘定におけるその他有価証券に係る減損損失の計上があったものの、解約の増加にともない責任準備金負担が期初想定を下回ったこと、および一般勘定におけるその他有価証券に係るヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益が期初想定を上回ったことなどから、上方修正。

■損害保険事業

経常収益は、自動車保険の保険料収入が期初想定を上回って推移したため、上方修正。経常利益は、FY18.4Q(3M)において事業費や責任準備金の繰入額の増加を見込んでいるものの、FY18.3Q(9M)累計の実績が期初想定を上回ったことにより、上方修正。

■銀行事業

経常収益および経常利益のFY18.3Q(9M)実績が、有価証券利息の増加などにより期初想定を上回って推移したため、上方修正。

ソニー生命の2018年12月末MCEV およびESR

2018年3月末を除く数値については、一部簡易な計算を実施しております。
計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

※当パートにおいては、数値、比率ともに表示単位未満は四捨五入で表示。

ソニー生命のMCEV

(億円)	18.3末	18.9末	18.12末	増減 対18.3末	増減 対18.9末
MCEV	16,332	17,153	16,646	+ 315	△ 506
修正純資産	17,861	15,600	18,241	+ 380	+ 2,641
保有契約価値	△1,529	1,553	△1,594	△ 65	△ 3,147

(億円)	FY17.4Q (3M)	FY18.1Q (3M)	FY18.2Q (3M)	FY18.3Q (3M)	FY18.3Q (9M)
新契約価値	212	219	226	237	682
新契約マージン	6.1%	7.1%	6.9%	7.3%	7.1%

◆ MCEV増減要因

- ・ 円金利の低下などにより、前四半期末に比べ506億円の減少。

◆ 新契約価値および新契約マージン

- ・ FY18.3Q(3M)の新契約価値は、着実な新契約獲得により、237億円。
- ・ 新契約マージンは、3Q(3M)を通じてドル金利の水準が2Q(3M)よりも高かったことなどにより、FY18.2Q(3M)に比べ0.4ポイント上昇。

(注) 2018年6月末以降のMCEVの計算は、2018年3月末の前提条件から、主に経済前提と解約・失効率をアップデート。

(注) 新契約価値および新契約マージンは、各月の新契約を各月末の経済前提で評価し、2018年3月末に実施した保険リスク計測手法等の見直しを2018年度より反映。なお、保険リスクの計測手法等の見直しについては、「2017年度連結業績およびソニー生命の2018年3月末MCEV【速報】」などをご参照ください。

※ 国債レートやイールドカーブについては、P.41-44参照。

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

27

ソニー生命のESR

(億円)	18.3末	18.9末	18.12末
保険リスク	4,975	4,887	5,139
市場関連リスク	3,806	4,076	3,853
うち金利リスク	2,753	3,007	2,641
オペレーショナルリスク	310	330	319
カウンターパーティリスク	26	27	29
分散効果	△1,820	△1,878	△1,859
経済価値ベースのリスク量	7,297	7,441	7,480

(億円)	18.3末	18.9末	18.12末
MCEV+フリクショナル・コスト	16,558	17,316	16,857
ESR	227%	233%	225%

- ◆ 経済価値ベースのリスク量は、保険リスクの増加などにより、前四半期末に比べ39億円増加し、7,480億円。
- ◆ ESRは、MCEVの減少により、前四半期末に比べ7ポイント低下し、225%。

(注) 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク（保険リスク、市場関連リスクなど）を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量。

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、内部モデルを採用。

(注) 金利リスクは、市場関連リスク内での分散効果考慮前のリスク量。

(注) ESRは「(MCEV+フリクショナル・コスト) / 経済価値ベースのリスク量」。

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

28

参考情報

その他トピックス

◆ ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローン取扱い状況

FY18.3Q(9M)の住宅ローン新規融資実行金額の11%

2018年12月末の住宅ローン残高の20%

※銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



◆ ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

FY18.3Q(9M)の新規自動車保険契約件数の5%

※自動車保険取扱い開始：2001年5月



◆ 2018年度第3四半期以降の主な取組み

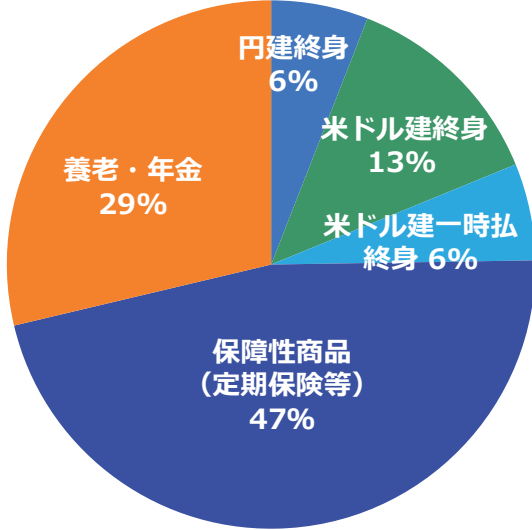
2018年10月1日	銀行	【新商品】住宅ローン新商品「固定セレクト住宅ローン」およびあらたな疾病保障特約付き団体信用生命保険の取扱いを開始
2018年10月15日	損保	【新商品】インターネット専用の火災保険の販売を開始
2018年11月30日	ベンチャー キャピタル	成長期待国への貸付型クラウドファンディングを展開するクラウドクレジット株式会社に出資
2018年12月12日	生保	入院給付金・手術給付金の簡易請求の取扱範囲拡大
2019年1月31日	介護	介護付有料老人ホーム「ソナール」シリーズ5棟目を東京都新宿区に新設することを発表 ※2020年春開設予定

ソニー生命の商品構成

商品種類別新契約年換算保険料

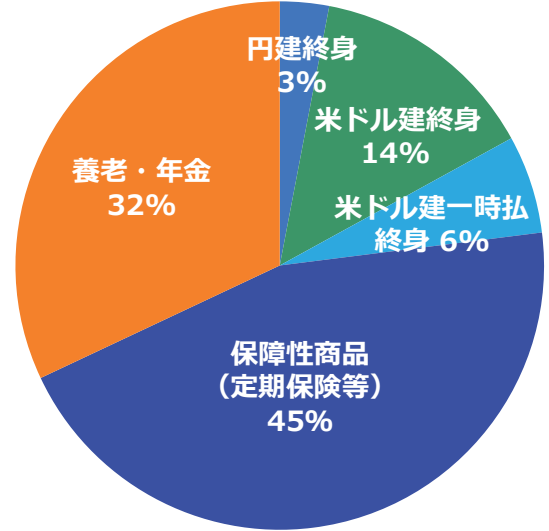
FY17 (通期)

730億円



FY18.3Q (9M)

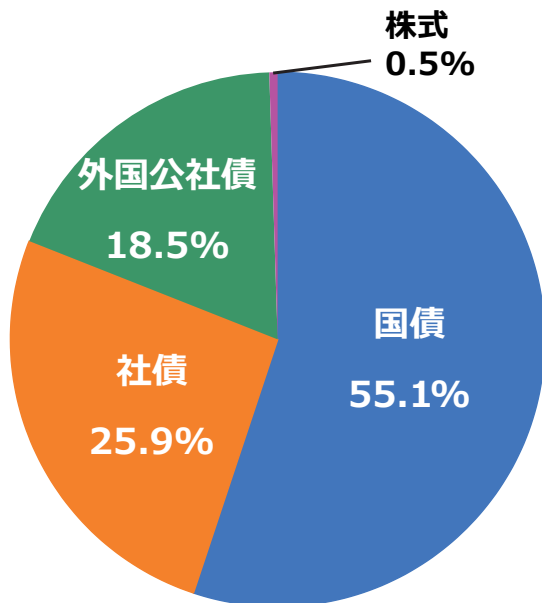
570億円



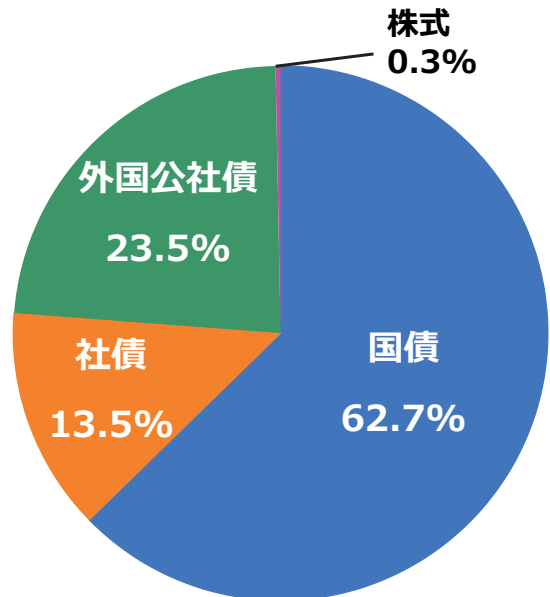
ソニー生命の資産運用

一般勘定資産における有価証券の購入

FY17 (通期)



FY18.3Q(9M)



(注1) 社債には、財投機関債、政府保証債を含む。

(注2) 上記の表は対象期間の購入金額を100%とした資産配分 (子関連出資・政策投資を除く)。

ソニー生命の一般勘定資産

一般勘定資産の内訳

(億円)	18.3末		18.12末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	72,811	86.3%	76,379	85.4%
株式	384	0.5%	292	0.3%
外国公社債	3,665	4.3%	5,034	5.6%
外国株式等	303	0.4%	242	0.3%
金銭の信託	2,705	3.2%	2,676	3.0%
約款貸付	1,894	2.2%	1,956	2.2%
不動産 (注)	923	1.1%	911	1.0%
現預金・コールローン	408	0.5%	554	0.6%
その他	1,291	1.5%	1,410	1.6%
合計	84,388	100.0%	89,459	100.0%

(注) 「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上。

<資産運用状況>

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続



〔債券のDuration〕

2017.3末 21.3年
2018.3末 21.4年
2018.12末 21.3年

- 「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用
- 一般勘定資産における公社債（金銭の信託で運用されているものを含む）の実質的な構成比

2017.3末・・・90.1%
2018.3末・・・89.5%
2018.12末・・・88.4%

ソニー生命の保有する有価証券（一般勘定）

有価証券の時価情報

売買目的有価証券以外の有価証券のうち、時価のあるもの

(億円)

区分	17.3末			18.3末			18.12末		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
満期保有目的の債券	60,686	75,142	14,455	64,679	80,506	15,826	67,112	83,207	16,095
責任準備金対応債券	2,773	3,033	259	4,019	4,368	348	6,036	6,474	438
その他有価証券	8,965	10,699	1,733	9,219	10,911	1,691	9,651	11,237	1,586
公社債	8,526	10,133	1,607	8,470	10,021	1,550	8,673	10,177	1,504
株式	136	270	133	136	306	169	105	203	97
外国証券	300	291	△8	610	581	△29	871	853	△17
その他の証券	1	3	1	1	2	1	1	2	1
合計	72,425	88,875	16,449	77,919	95,786	17,867	82,799	100,918	18,119

(注) 本表には、金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のものを含む。

売買目的有価証券の評価損益

(億円)

17.3末		18.3末		18.12末	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益
20	△1	-	△0	11	△3

ソニー生命の利配収入内訳

(百万円)

	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)	前年同期比
現預金	0	0	+ 145.4%
公社債	93,504	97,082	+ 3.8%
株式	380	377	△ 0.9%
外国証券	10,479	14,538	+ 38.7%
その他の証券	127	293	+ 130.9%
貸付	4,957	5,124	+ 3.4%
不動産	8,048	6,578	△ 18.3%
その他	290	409	+ 40.9%
合計	117,788	124,403	+ 5.6%

ソニー生命のキャピタル損益内訳

(百万円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
キャピタル費用	25,809	14,420
売買目的有価証券運用損	-	293
有価証券売却損…(3)	0	34
有価証券評価損…(4)	-	4,026
金融派生商品費用	23,990	784
うち変額保険に係るヘッジ損…(1)	13,515	△1,696
うちその他有価証券に係るヘッジ損…(2)	5,877	△1,692
うち米ドル建保険関係の為替差損…(5)	3,445	4,141
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	1,819	9,280
うち米ドル建保険関係の 為替変動に係る責任準備金等繰入額…(5)	1,155	9,280

(百万円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
キャピタル収益	2,851	17,726
売買目的有価証券運用益	47	-
有価証券売却益…(3)	0	4,581
金融派生商品収益	-	-
為替差益	2,804	13,145
うち米ドル建保険関係の 為替差益…(5)	2,189	13,036
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル損益	△22,958	3,306

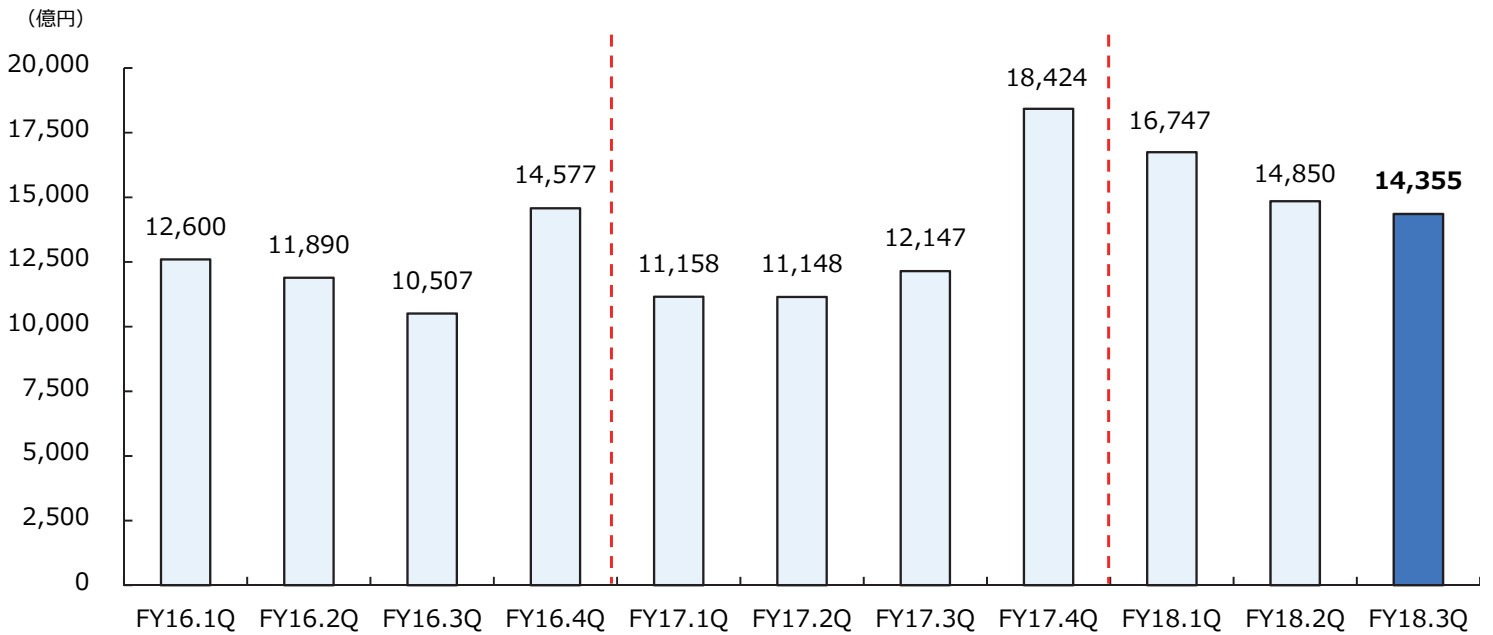
(注) 売買目的有価証券運用益(損)、金融派生商品収益(費用)、為替差益(差損)は、それぞれ相殺後の金額を計上。

●主な項目のキャピタル損益(純額)

(百万円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
(1)変額保険に係るヘッジ損益	△13,515	1,696
(2)その他有価証券に係るヘッジ損益	△5,877	1,692
(3)有価証券売却損益	0	4,547
(4)有価証券評価損	-	△4,026
(5)米ドル建保険関係損益	△2,411	△384

ソニー生命の新契約高の四半期推移

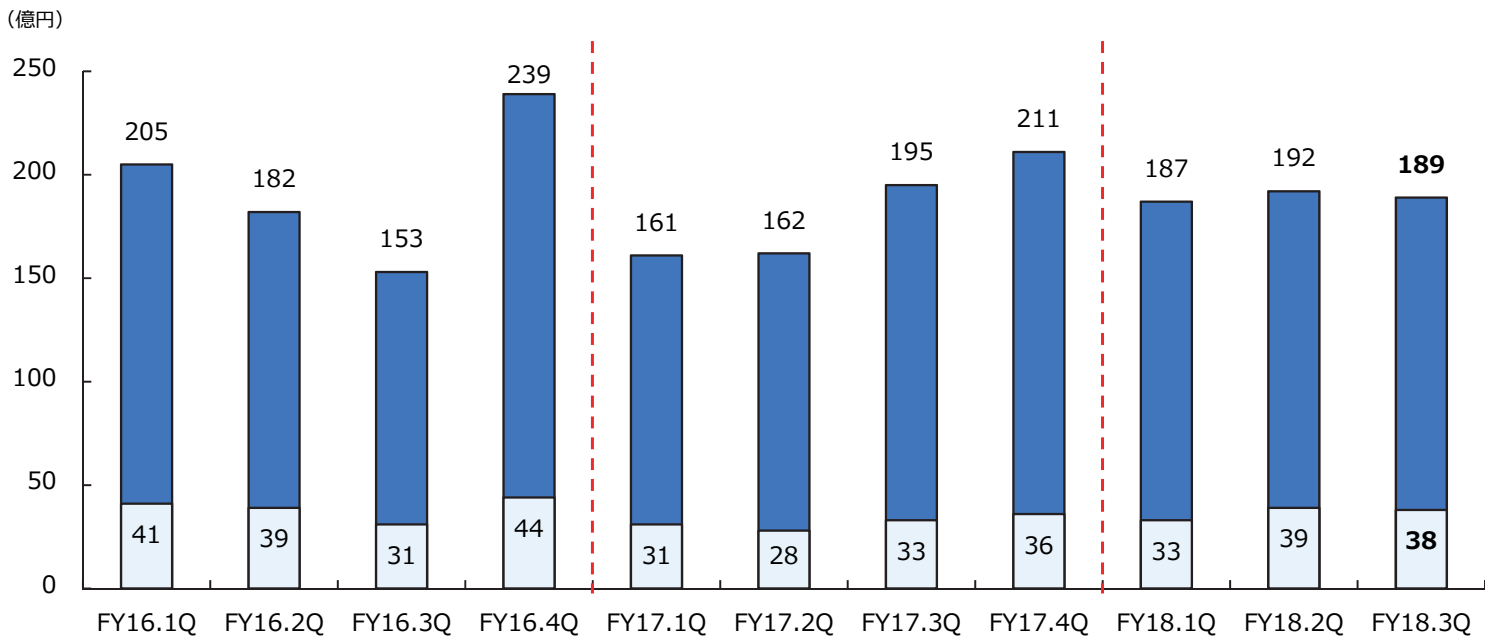
新契約高の四半期（3カ月）ごとの推移（個人保険+個人年金保険）



ソニー生命の新契約年換算保険料の四半期推移

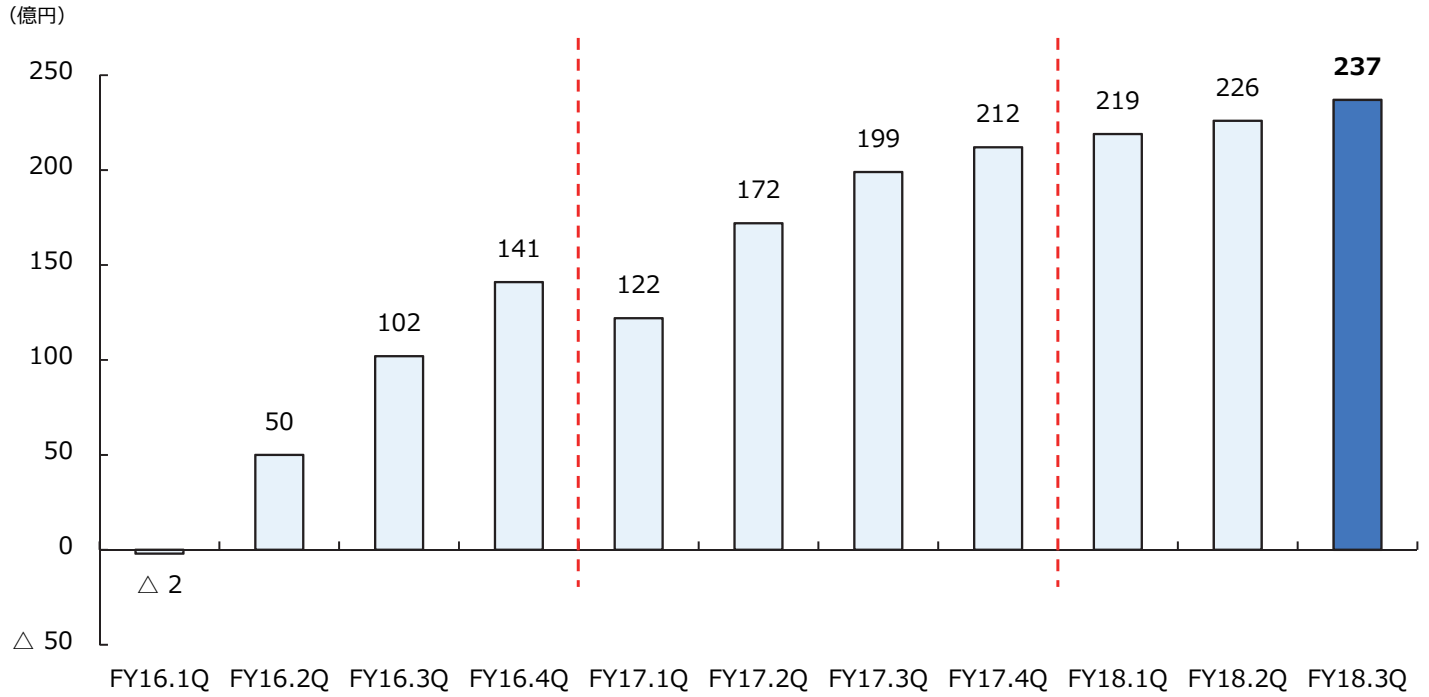
新契約年換算保険料の四半期（3カ月）ごとの推移（個人保険+個人年金保険）

■ 新契約年換算保険料 □ うち、第三分野



ソニー生命の新契約価値の四半期推移

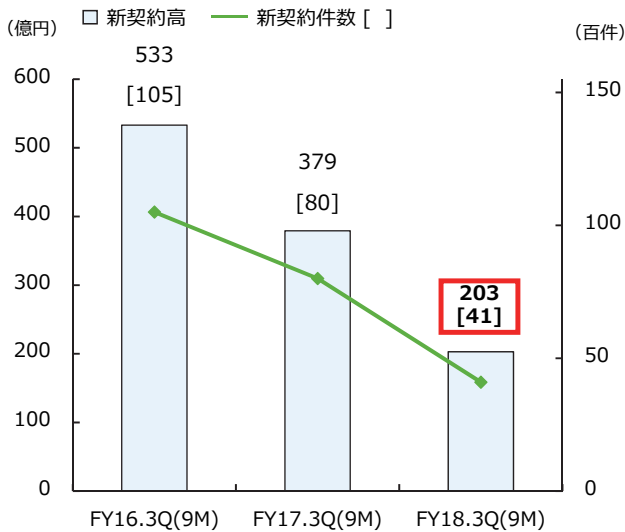
新契約価値の四半期（3カ月）ごとの推移



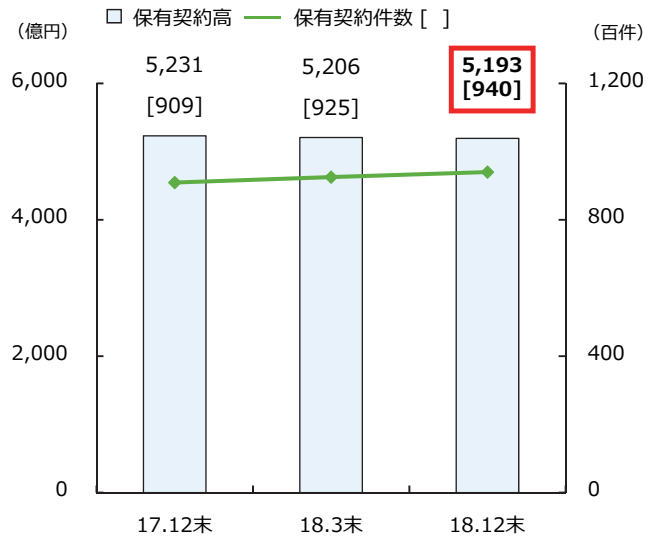
年金事業の業績

ソニーライフ・エイゴン生命の新契約高及び保有契約高

新契約高・件数



保有契約高・件数

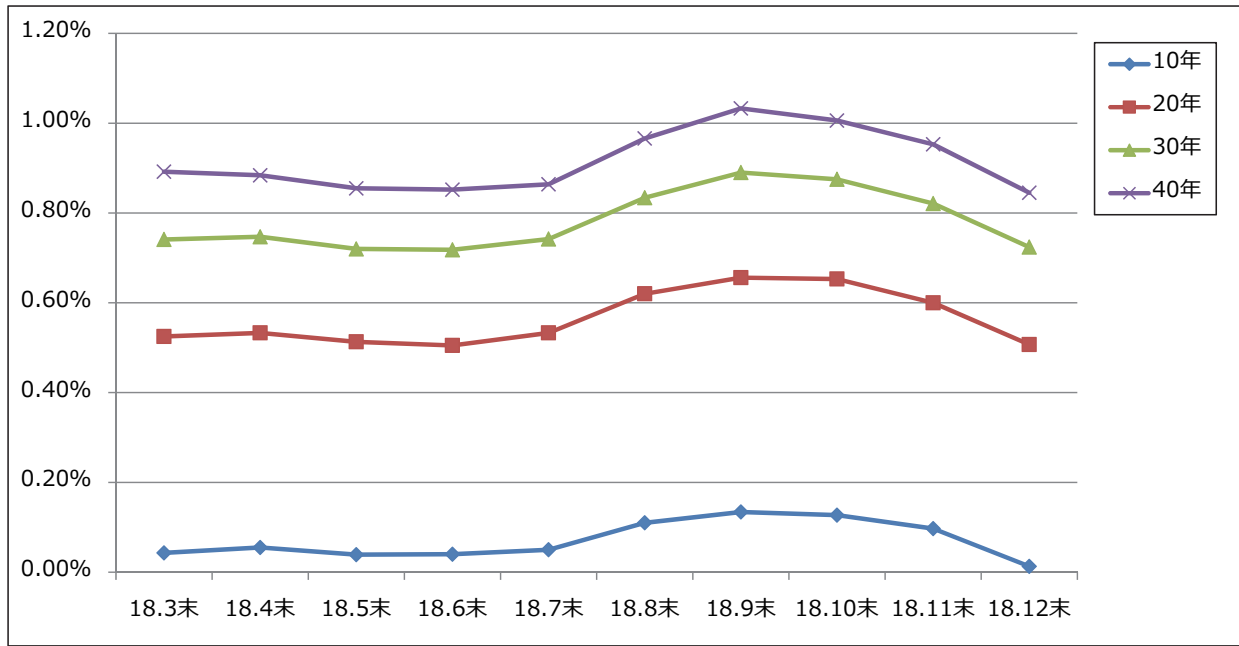


ソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの四半期純利益（△損失）

(億円)	FY17.3Q(9M)	FY18.3Q(9M)	前年同期差
ソニーライフ・エイゴン生命	△33	△26	+7
SA Reinsurance	△2	17	+20

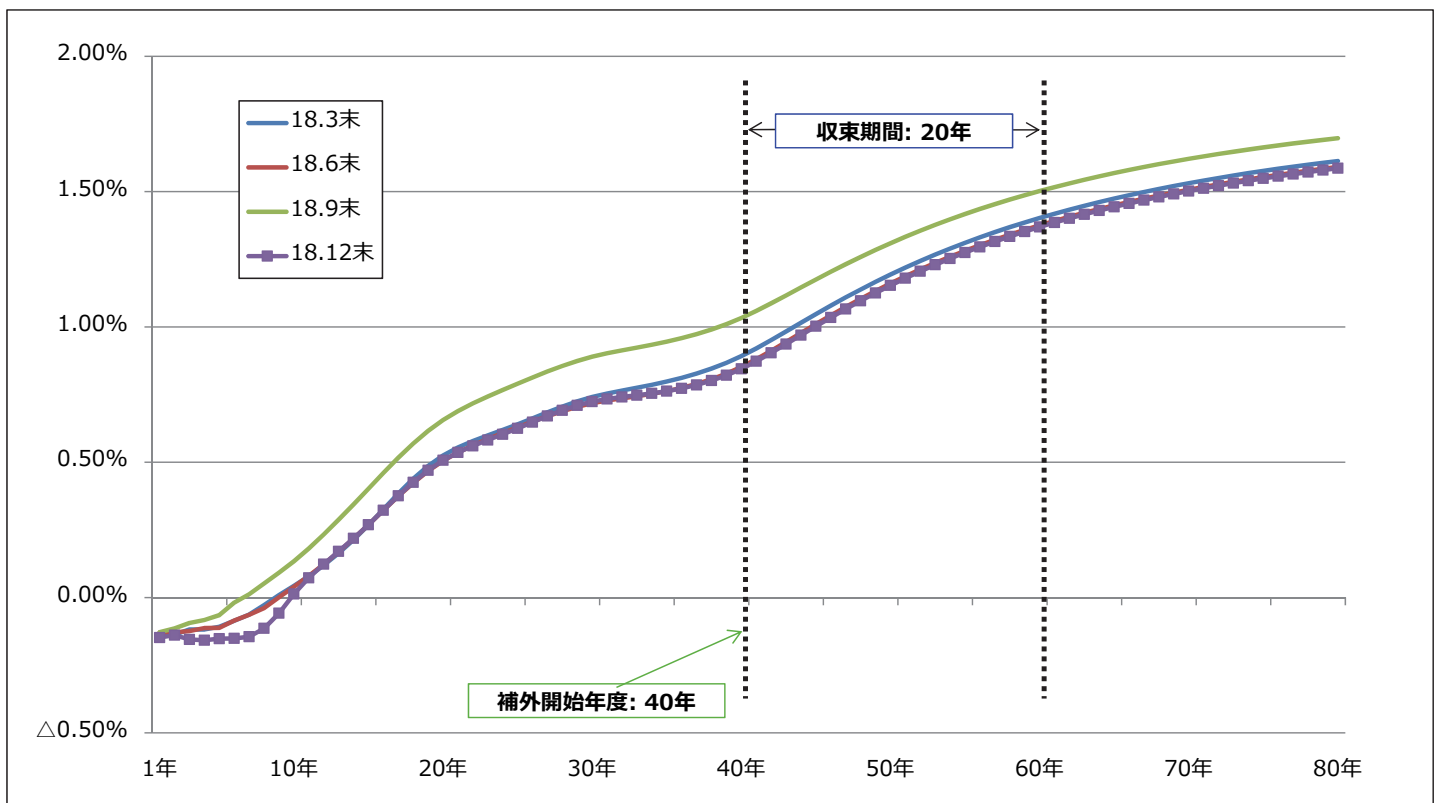
(注) ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資（50:50）による合弁会社であり、SFHの持分法適用関連会社。SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠。SFHの親会社株主に帰属する四半期純利益には上記の金額に対する持分相当（50%）を反映。

日本国債レートの推移（パーレート）



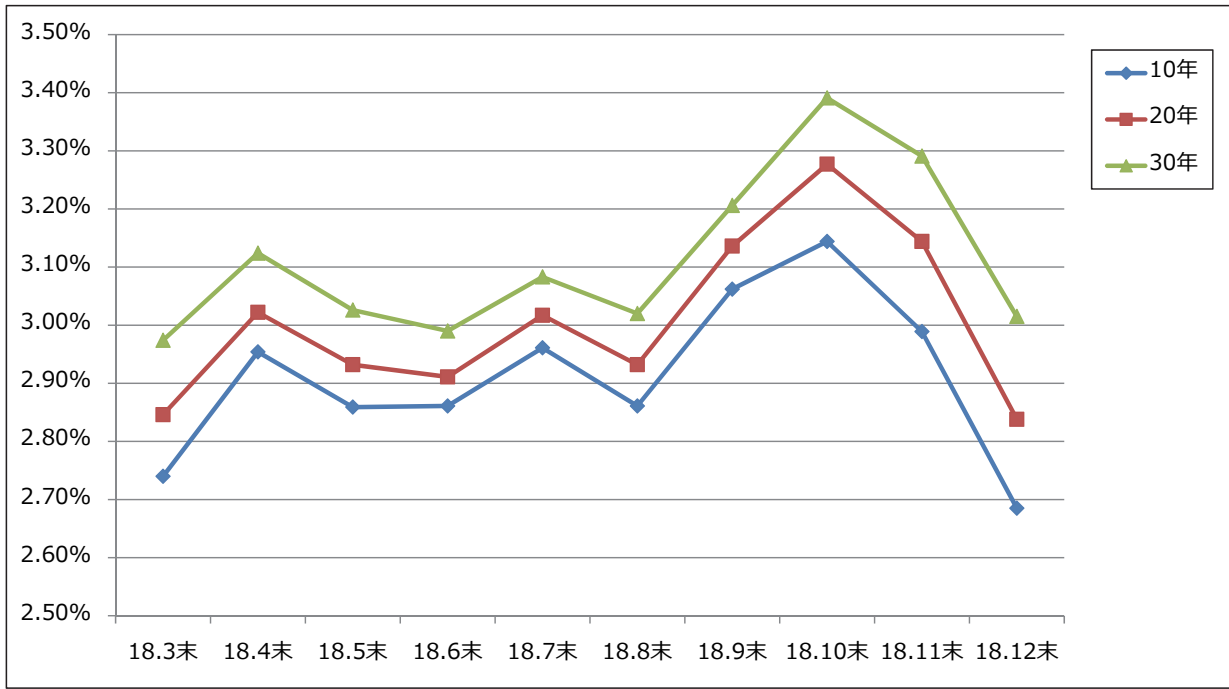
	18.3末	18.4末	18.5末	18.6末	18.7末	18.8末	18.9末	18.10末	18.11末	18.12末
10年	0.04%	0.06%	0.04%	0.04%	0.05%	0.11%	0.13%	0.13%	0.10%	0.01%
20年	0.53%	0.53%	0.51%	0.51%	0.53%	0.62%	0.66%	0.65%	0.60%	0.51%
30年	0.74%	0.75%	0.72%	0.72%	0.74%	0.83%	0.89%	0.88%	0.82%	0.72%
40年	0.89%	0.88%	0.86%	0.85%	0.86%	0.97%	1.03%	1.01%	0.95%	0.85%

リスクフリーレートの推移（日本円/パーレート換算）



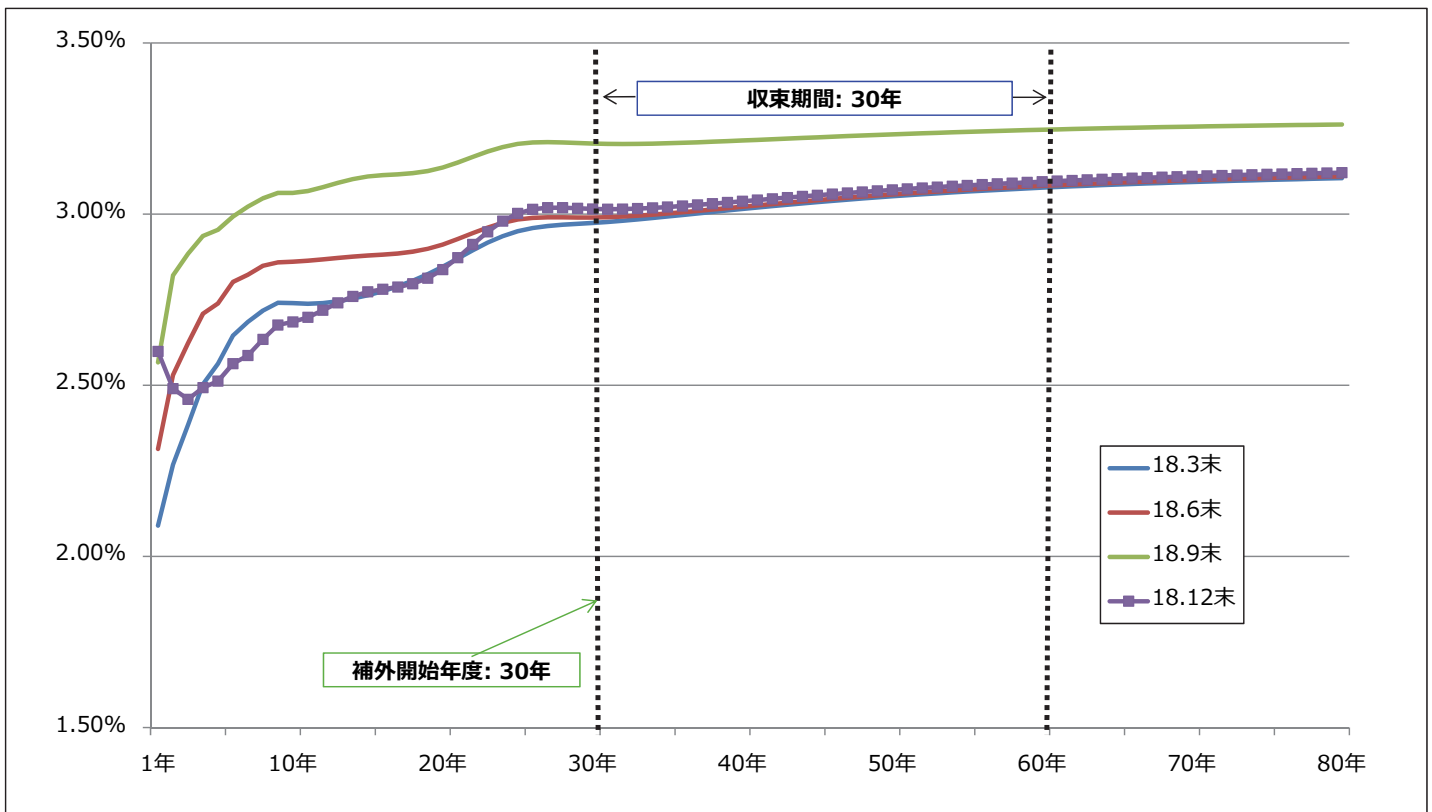
* 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利（3.5%）に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

米国債レートの推移（パーレート）



	18.3末	18.4末	18.5末	18.6末	18.7末	18.8末	18.9末	18.10末	18.11末	18.12末
10年	2.74%	2.95%	2.86%	2.86%	2.96%	2.86%	3.06%	3.14%	2.99%	2.69%
20年	2.85%	3.02%	2.93%	2.91%	3.02%	2.93%	3.14%	3.28%	3.14%	2.84%
30年	2.97%	3.12%	3.03%	2.99%	3.08%	3.02%	3.21%	3.39%	3.29%	3.02%

リスクフリーレートの推移（米ドル/パーレート換算）



* 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利（3.5%）に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

連結修正ROEの内訳

	FY2017 (12M)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
連結修正ROE	6.1%	4.5%	5.1%
(ソニー生命) コアROEV *	5.9%	4.2%	4.8%
(ソニー損保) 修正ROE	16.1%	12.5%	14.3%
(ソニー銀行) ROE	5.5%	3.9%	5.3%

* FY2017およびFY17.3Qは、ソニー生命における保険リスクの計測手法などの見直しの影響を含みません。

連結修正利益および連結修正資本の内訳

修正利益 (分子)

ソニーフィナンシャルグループ (連結) (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
修正利益(連結)	988	708	908

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
新契約価値 *1	704	492	682
保有契約価値からの貢献 *1	163	128	107
修正利益	867	620	789

ソニー損保 (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
当期 (四半期) 純利益	48	36	52
異常危険準備金繰入額 (税後)	24	18	19
価格変動準備金繰入額 (税後)	0	0	0
修正利益	73	55	72

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	47	33	46

修正資本 (分母)

ソニーフィナンシャルグループ (連結) (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
修正資本 (連結)	16,076	15,922	17,735

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
①前年度末MCEV	14,410	14,410	16,331
②配当額	231	231	262
③当年度(当四半期)末MCEV *2*3	15,365	15,095	16,646
修正資本 (① - ② + ③) ÷ 2	14,772	14,637	16,357

ソニー損保 (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
①純資産の部の期中平均額	331	316	353
②異常危険準備金 (税後) の期中平均額	150	144	170
③価格変動準備金 (税後) の期中平均額	1	1	1
修正資本 (① + ② + ③)	452	441	504

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2017	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)
修正資本 (純資産の部の期中平均額)	851	843	873

*1: FY17.3QおよびFY18.3Qは、計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

*2: 計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

*3: FY2017およびFY17.3Qは、ソニー生命における保険リスクの計測手法などの見直しの影響を含みません。

(注) 本ページに記載している数値は、全て表示単位未満を切捨てて表示しています。そのため他のパートで表示している数値と一部異なることがあります。

連結修正ROEの算式

保険事業や銀行事業などグループ各社の業態が異なるため、各事業ごとに、修正利益および修正資本に基づく「修正ROE」を算出し、企業価値や資本効率の的確な把握に努める。グループ各社の修正ROEの算式は以下のとおり。

ソニーフィナンシャルグループ *			
	ソニー生命 コアROEV	ソニー損保 修正ROE	ソニー銀行 ROE
分子 (修正利益)	新契約価値 + 保有契約価値からの貢献 ①	当期純利益 + 異常危険準備金繰入額(税後) + 価格変動準備金繰入額(税後) ②	親会社株主に帰属する 当期純利益 ③
分母 (修正資本)	(前年度末MCEV - 配当額 + 当年度末MCEV) ÷ 2 ④	以下の期中平均値 (純資産の部 + 異常危険準備金(税後) + 価格変動準備金(税後)) ⑤	純資産の部の期中平均値 ⑥

* グループの連結修正ROE = 連結修正利益 ÷ 連結修正資本
 連結修正利益 = ① + ② + ③
 連結修正資本 = ④ + ⑤ + ⑥



お問い合わせ先：

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR部
 TEL：03-5290-6500（代表）